

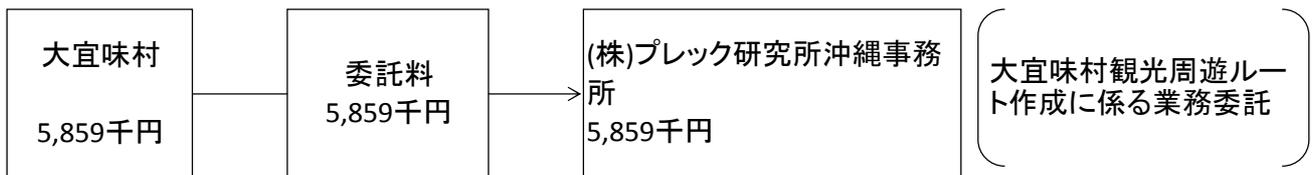
市町村名	大宜味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ア		
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	環境共生型社会の構築		
事業内容	大宜味村の特徴ある観光資源(自然・文化・歴史・祭・文化財等)を連携させる観光周遊ルートや特産品の販売促進施設を整備し、受入体制の強化による観光振興を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	12,651					
	(b)予算現額	5,859					
	(c)増減額(b-a)	▲6,792					
	(d)前年度繰越額	—					
	A.計(b+d)	5,859	0				
	B.執行済額	5,859					
	うち交付金充当額	4,687					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	入札の結果、当初予算から大きく減になったが、当初計画していた内容は全て実施しており、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	大宜味村観光周遊ルート計画の作成(観光スポット、メインルート検討)	目標	(計画策定)	()	()	()	
		実績	計画策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ター滝などの自然観光資源や歴史文化観光資源である観光資源を線をつなぐことにより大宜味村の周遊観光ルートを作成することができた。また、ルート上の課題や整備計画の策定を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	観光スポット、メインルートの設定 整備計画案の作成	目標	()	(計画策定)	()	()	(—)
		実績		計画策定			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	県民アンケートや有識者意見を踏まえ、観光案内板の不足や情報センターが機能していないことなどの課題が浮かびあがった。今後は、計画に基づき、周遊観光のための案内板設置や施設整備を実施していく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	周遊ルート形成整備事業を進めるにあたり、県民400名を対象にアンケートを実施した。その結果、「大宜味村」という知名度の低さやPR力、案内板の未整備など様々な懸念される課題が浮き彫りになった。	受入体制の整備を優先的に実施することを念頭に置き、各案内地への案内板の整備計画を策定。また、観光客誘致の見込める観光地の整備計画などを策定。

今後の取り組み方針
計画策定を踏まえ、計画に基づいた案内板の整備や観光スポットの整備を実施する。さらには、「大宜味村」のPRを様々な方法で実施する必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,859	5,859	4,687	1,172	0



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者を指名競争入札により企業組織、実績、知識等を考慮した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 大宜味村観光情報発信整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第5章-3-(1)-ア		
	担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	環境共生型社会の構築		
		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)			
事業内容	村の観光資源などの情報をより効果的に広く発信するため、イメージキャラクターの作成、誘客イベントの開催、観光サイトやVTRによる情報発信等により大宜味村らしい観光情報発信を展開し、誘客を促進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,655				
		(b)予算現額	4,940				
		(c)増減額(b-a)	▲715				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	4,940	0			
	B.執行済額		4,741				
	うち交付金充当額		3,792				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.0%				
予算の状況の説明		入札の結果、補正減があったが、計画どおり実施しており、適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	キャラクター着ぐるみの製作2体 PRキャラクターイラスト集製作100図	目標	(2体、100図)	()	()	()	
		実績	2体、100図				
	誘客イベント開催支援(産業まつり、おおぎみ椿まつり)	目標	(産業祭開催支援 椿まつり開催支援)	()	()	()	
実績		産業祭開催支援 椿まつり開催支援					
達成状況説明	【産業まつり】 誘客増のための、新規3イベント(①交流イベント→宮城県・福島県・結の浜賃貸工場入居企業特設ブースの設置。②ステージイベント→宮城県「宮城新昌と牡蠣を語る」・福島県「大宜味村シークワサーキャラクター(シーちゃん)・シークワサーおばーのお披露目と福島県キャラクター(こゆりちゃん)のコラボ」と沖縄県地産ヒーローステージ。③講演イベント→産業振興講演「結の浜賃貸工場入居企業基調報告・パネルディスカッション」を実施した。 【椿まつり】 全国椿サミット会員の誘致も兼ね、会場設営や各種イベントの開催、祭り会場の拡大を実施した。その結果、全国椿サミット会員をはじめ、県民や観光客に大宜味村の椿を知ってもらい、さらには、大宜味村の知名度の向上を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	産業まつり参加者数:3,000名	目標	(2,500名)	(3,000名)	()	()	(4,500名)
		実績		4,000名			
	おおぎみ椿まつり参加者数:1,000名	目標	(500名)	(1,000名)	()	()	(—)
		実績		1,800名			
進捗状況説明	【産業まつり】 友好交流「市」「町」である、宮城県石巻市と福島県西会津町を招いての特産品販売や、ステージイベントの実施により、村外来客者が増えた。また、講演イベントとして、「結の浜賃貸工場入居企業基調報告・パネルディスカッション」により、村内来客者が増え、目標誘客者数を上回った。 【椿まつり】 事業実施により、多くの全国椿サミット会員だけでなく、観光客や県民に大宜味村のPRをできただけでなく、誘客の方法やエコツーリズムの改善の検討など多くの課題の見直しを図ることもできた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【産業まつり】</p> <p>①開催時期と開催場所の設定 例年1月の第3週で開催していたが、悪天候が数年続き、1日だけの開催や、2日間開催中止が続いた。また、本村はイベント施設が無く、悪天候対策や、来場者駐車スペースの十分な確保が常に課題であった。</p> <p>②例年イベントの一部更新 開催当時からイベントプログラムである、農作物の大きさを競う「マギースープ」への出品が減少しており、それにかわるイベントの考案が課題であった。</p> <p>③展示会場(コーナー)の充実 農産物をPRする展示コーナーのスペースが、展示物が少なく例年減少しており、展示コーナーの充実が課題であった。</p> <p>【椿まつり】 会場が椿の咲いている山の上にあったこともあり、会場が狭く、来場者の誘導や駐車に問題があった。</p>	<p>【産業まつり】</p> <p>①H24年度は、開催時期を1周早め1月の第2週に開催したことにより、天候には恵まれたが、村の特産物であるシークワーサーの繁期である、夏7~8月(青切りシークワーサー・夏野菜等農産物)か冬12月(フルーツシークワーサー・冬野菜等の産物)の次期に合わせた開催を検討していく。また、開催場所については、村内で会場周辺で十分な駐車スペースを確保することが困難なため、シャトルバスや、駐車場人員動員の増による、スムーズな誘導・駐車を検討していく。</p> <p>②時代や誘客者嗜好に合わせた、大宜味村らしさのある、あらたなイベントの考案を検討していく。</p> <p>③まつり実行委員会組織機能の充実をはかり、各部会で展示物の出品(ディスプレイ)を検討していく。</p> <p>【椿まつり】 分会場を設置するなど、広範囲に来場者を誘致し、さらなる大宜味村のPR改善余地の検証が図られる。</p>

今後の取り組み方針

【着ぐるみ・イラスト】大宜味村をもっとPRするため、着ぐるみ(おおぎみシーちゃん、ぶながや)をイベント等で活用していく。

【産業まつり】

①開催時期・場所については、市場流通の少ないフルーツシークワーサーの繁期に合わせた12月に開催し、悪天候を避け、十分な会場及び・駐車スペースの確保できる「結の浜」での開催を行う。

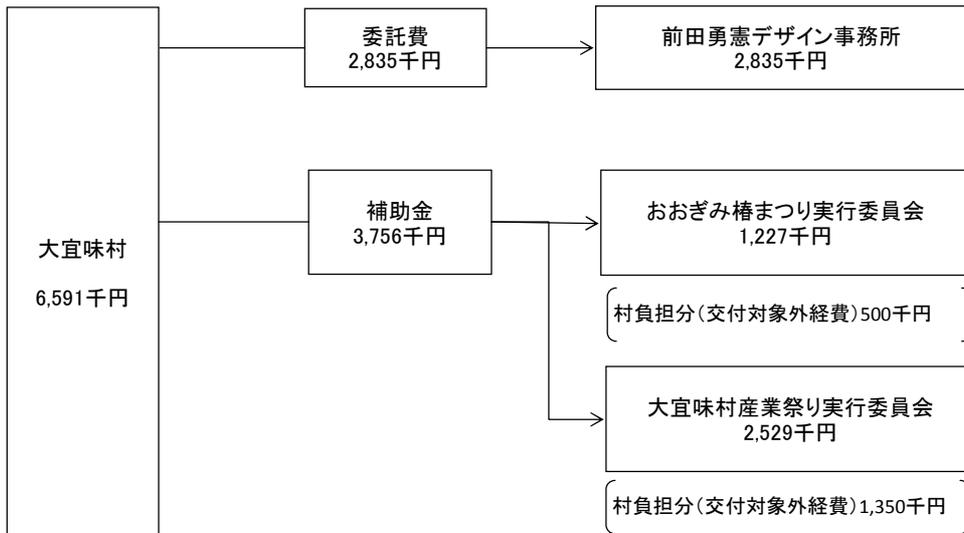
②例年イベントについては、「マギースープ」を廃止し、「フルーツシークワーサー品評会」を実施する。

③展示コーナーについては、実行委員会内各部会ごとに、展示スペースを割り当て、出品(ディスプレイ)を行う。

【椿まつり】今後は、官民連携した誘客方法の課題、検討、実践を行い、さらなる大宜味村のPR方法を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

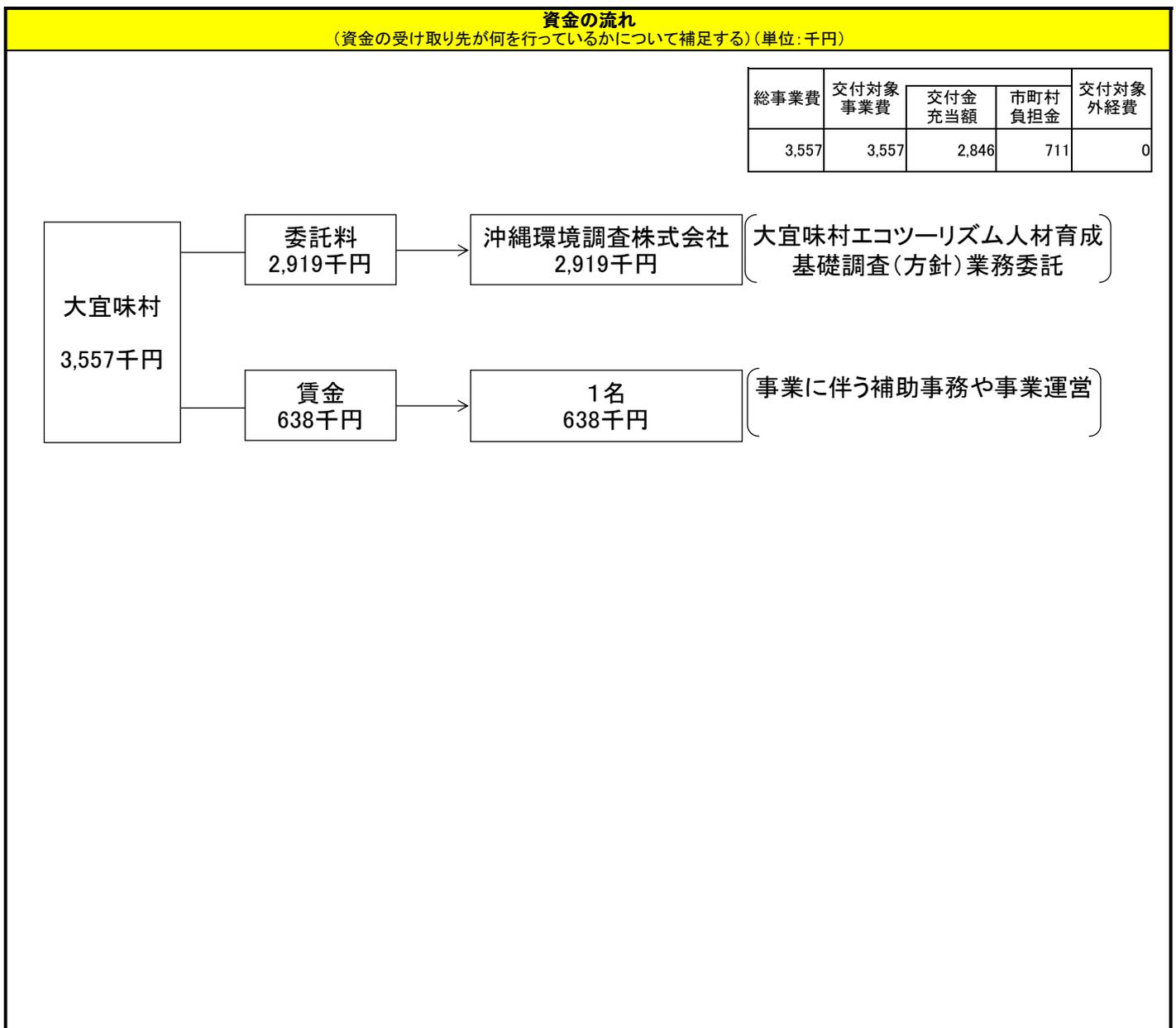
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,591	4,741	3,792	949	1,850



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において①当初予算計上積算基礎②支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	エコツーリズム人材育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ア			
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	環境共生型社会の構築		
事業内容	村における人材(ガイド、指導者へ)の認定制度を設け、北部やんばる地域の世界遺産登録に寄与できる体制整備と大宜味(やんばる)らしいエコツーリズム実践のためのインタープリターの要素を備えた、認定ガイド等の育成を図るため、人材育成基本方針の検討、観光資源の発掘利用検討を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	7,938					
	(b) 予算現額	3,954					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,984					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	3,954	0				
	B. 執行済額	3,557					
	うち交付金充当額	2,845					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	90.0%					
予算の状況の説明	入札の結果、当初予算から大きく減になったが、当初計画していた内容は全て実施しており、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	大宜味村エコツーリズム人材育成基礎調査(人材育成基本方針の検討、観光資源の発掘利用検討)	目標	(基礎調査及び方針の策定)	()	()	()	
		実績	基礎調査及び方針の策定				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	大宜味村におけるエコツーリズムの資源調査や民間事業者のアンケート、課題、有識者の意見聴取を実施した。その結果、ガイド不足によるガイド認定制度の必要性や近隣市町村との連携などの課題が浮かび上がり、それらに基づいて今後のエコツーリズムにおける人材育成方針を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	大宜味村エコツーリズム人材育成方針の策定	目標	(なし)	(方針策定)	()	()	(—)
		実績		方針策定			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	事業実施により、村内民間事業者の意見を調査することができた。また、それらを元に必要とされるエコツーリズムにおける課題や人材の不足、連携によるエコツーリズム事業の展開予想を確認することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光客の認知度の低下、ガイドの不足などの推進上の課題が浮き彫りとなった。また、旅行者や近隣市町村との連携不足などの課題が浮き彫りになった。	人材育成によるガイドの創出が今後エコツーリズムにおける改善検討が図られる。また、単独ではなく、似たような課題を抱える近隣市町村との連携を図ることにより、マスで受け入れることが可能になるなどの改善策の検討も図られた。
今後の取り組み方針		
24年度の方針を元に、人材育成方法の検討、ガイド認定制度の検討、近隣市町村との連携などを検討し、大宜味村エコツーリズム人材育成計画の策定を行う。		



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者を指名競争入札により企業組織、実績、知識等を 勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	石灰岩の山資源調査・活用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ア	
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	環境共生型社会の構築	
事業内容	大宜味村の中央部山地にある全国でも稀な石灰岩の山を観光資源として活用するため、鍾乳洞、湧水、滝、自然資源(生物・植物)等の調査を行う。あわせて、小水力発電等による自然エネルギー活用の可能性も含めた新たな活用方法について調査を行い、大宜味村の特性を活かした観光事業につなげる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	12,566					
	(b)予算現額	9,555					
	(c)増減額(b-a)	▲3,011					
	(d)前年度繰越額	—					
	A.計(b+d)	9,555	0				
	B.執行済額	9,555					
	うち交付金充当額	7,644					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	入札により補正減を行ったが、当初計画していた事業内容は全て実施しており、適正であると考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	山資源の基礎調査 (石灰岩の山 洞窟、鍾乳洞、湧水、河川などの調査を行い利用方針を検討)	目標	(基礎調査)	()	()	()	
		実績	基礎調査				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	村の中央部山地に有る石灰岩の山の貴重な資源(洞窟・湧水等)の基礎調査を行い、その活用方法の方向性をまとめ、次年度の詳細調査とエコツーリズム等事業化の可能性につながった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	洞窟、鍾乳洞、湧水など山資源の基礎データ把握	目標	(基礎データなし)	(基礎データ把握)	()	()	(—)
		実績		湧水9、洞窟6、河川3			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	湧水9ヶ所(水質検査)、洞窟6ヶ所(現地調査)、河川3ヶ所(流量調査)の基礎調査を実施した。						

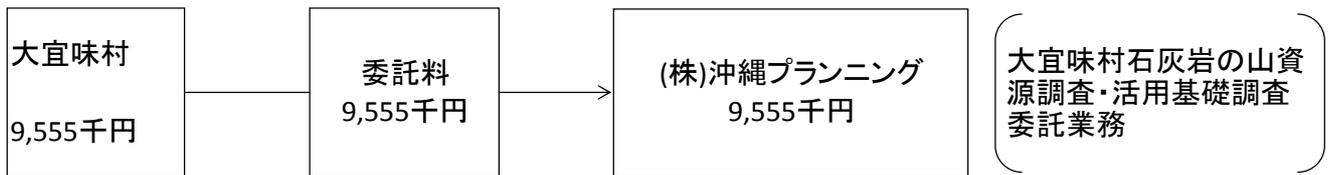
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	湧水の水質検査の結果、9ヶ所中4ヶ所の湧水で飲料不適合との結果となった。今後湧水をうまく利用するためには原因を追及する必要がある。洞窟については、アクセスが容易な箇所学習的、探検的な効果が期待できる場所があるが、観光として利用する場合は、保存状態に気をつける必要がある。村内の河川は17ヶ所あり、二級河川は県管理のため、河川管理者との協議が必要となる。	湧水については、飲料不適合となった箇所について、今後詳細調査を行い原因を追及することが必要。洞窟については、近くにある閉鎖したホテルが再開されれば、ホテルや、押川集落と連携して活用する方法も考えられる。河川については、普通河川ならば制約が少なく利用しやすい。

今後の取り組み方針

今回の基礎調査結果から、活用方法をまとめ、次年度の詳細調査と具体的な事業化に繋げる

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,555	9,555	7,644	1,911	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を提案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦ 沖縄らしい風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第5章-3-(1)-ア			
	担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	環境共生型社会の構築		
事業内容		大宜味村の地域性にあった景観づくりに向けて、景観法に基づく景観計画の方針を明らかにし、大宜味村の地域にあった魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。				Ⅲ-1-(1)		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,513					
		(b)予算現額	6,363					
		(c)増減額(b-a)	▲150					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	6,363	0				
	B.執行済額		6,363					
	うち交付金充当額		5,090					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		22年度より実施している。24年度においては、景観計画案策定のため、業務実績や知識などを勘定しプロポーザル方式を用いて業者選定を行った。結果、5者氏名中4社がプロポーザル参加を辞退し、23年度契約業者と契約を継続して実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	景観計画の策定	目標	(計画案策定)	()	()	()		
		実績	計画案策定					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	景観ワークショップを3回、景観フォーラムを1回実施、また、行政組織における関係各課を交えた班会議(2回)や地域代表者における区長会議(2回)に計画案について協議してもらい、景観案の策定を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	景観計画の策定	目標	(なし)	(計画案策定)	()	()	(—)	
		実績		計画案策定				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	景観ワークショップやフォーラムなどを実施し、住民が望む“沖縄らしい風景”の建築物における高さや面積の数値基準を設定することができた。また、景観先進地域の視察を行い、景観むらづくり活動の意識向上を啓発することができた。						

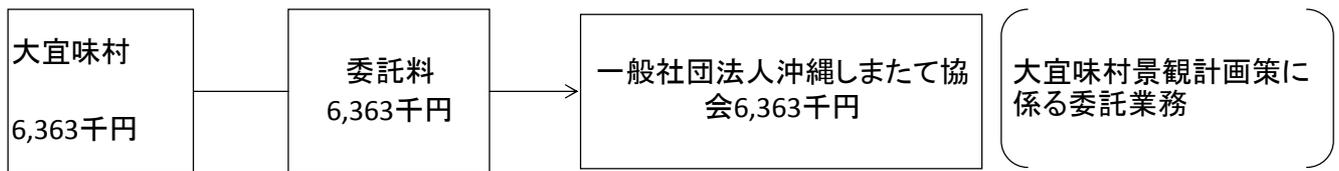
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現時点において、少しずつではあるが、「景観は国民の財産である」という景観向上に対する意識は向上してきている。しかしながら、まだまだ理解や向上意識に乏しい。	先進地視察や先進地団体との交流を重ねることにより、さらなる景観向上意識の啓発が望まれる。さらには、花づくり活動などの景観向上活動を実施し、むらの景観向上を認識させ、さらには、それらの活動が、観光客誘客につながることを意識させていく。

今後の取り組み方針

25年度においては、話し合いばかりではなく、実際に花づくり活動(仮称)などを実施し、景観むらづくりについて活動を展開していく。また、27年度を目途に次のステージである「準景観地区指定」にむけた事業を展開していく。準景観地区エリアには、古民家が多く現存し、芭蕉布の里として知られる「喜如嘉区」を見込んでおり、古民家残存数など沖縄らしい景観資源の調査を始め、地域住民の意識調査を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,363	6,363	5,090	1,273	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者を企業組織、実績、知識等を勘案した上で設定しており、プロポーザル方式を用い業者選定を行った。業務に精通しており、成果は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-⑧	芭蕉布会館機能高度化整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	環境共生型社会の構築	
事業内容	国の重要無形文化財である芭蕉布の継承発展及び観光客への文化発信拠点として重要な施設である芭蕉布会館において、体験ブースの設置やバリアフリー化等の機能強化を実施し、体験受入事業による施設利用者の増加を図る。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(a) 当初予算額	2,120				
	(b) 予算現額	5,102				
	(c) 増減額 (b-a)	2,982				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	5,102	0			
	B. 執行済額	4,027				
	うち交付金充当額	3,221				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	78.9%				
予算の状況の説明	芭蕉布の継承発展及び観光客へのPR用パンフレット及びパネル制作費として2,983千円増額した。また、入札残及び体験ブースの設置の取りやめにより不用額が出た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	芭蕉布会館における体験ブース設置やバリアフリー化等の整備工事	目標 ()	()	()	()	
	芭蕉布PR用パンフレット・作業工程パネルの作成	実績 ()	()	()	()	
		目標 ()	()	()	()	
		実績 ()	()	()	()	
達成状況説明	玄関スロープ設置、男女入ロドアの改修、段差解消によりバリアフリー化が図れた。また、PR用パンフレット・作業工程パネルを作成し展示した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	芭蕉布会館における体験ブース設置やバリアフリー化等の整備工事	目標 ()	()	()	()	()
	芭蕉布PR用パンフレット・作業工程パネルの作成	実績 ()	()	()	()	()
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績 ()	()	()	()	()
	進捗状況説明	玄関スロープ設置、男女トイレ入ロドアの改修、段差解消によりバリアフリー化が図れた。また、PR用パンフレット・作業工程パネルを作成し展示した。				

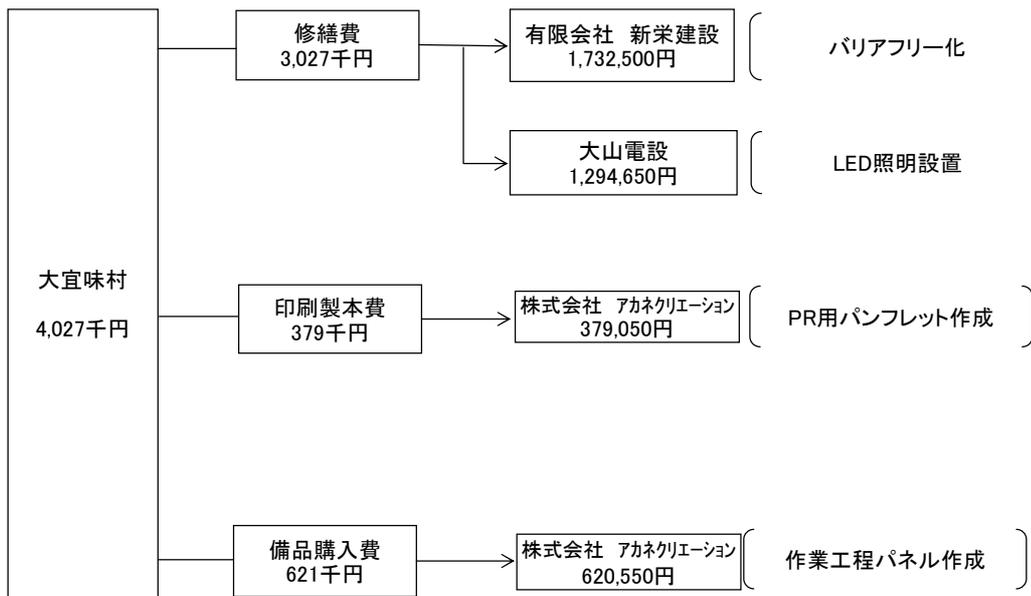
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	体験ブースの設置や体験受け入れ事業を行うには、入館料等の条例整備や受け入れ事業者の選定及び育成を図る必要がある。	23工程を経て作られる芭蕉布は、どの工程においても熟練の技術が必要で、受け入れ事業に携わる人もそれなりの経験が必要である。しかし、芭蕉布を取り巻く環境も高齢化が進み後継者不足で人材を充てることが厳しい。

今後の取り組み方針

現時点での受入事業者の選定はできないが、今後受け入れ事業の方法等関係機関と調整を図る

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,027	4,027	3,221	806	0



資金の 用途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な物なのか等について額の確定時において関係書類により確認し、適性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2 仮戸籍申告書の電算化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(5)-イ			
	担当部署名	住民福祉課		事業実施(予定)年度 平成24年度		戦後処理問題の解決		
		沖縄振興基本方針該当箇所		III-12				
事業内容		沖縄県の戸籍の証明書等は、太平洋戦争下で多くが消失しており、昭和28年に琉球政府が設立した「戸籍整備法」に基づいた戸籍の再製作業において、住民の記憶を基に作製された書類となっており、作製から58年が経ち劣化が激しく、今後の保存活用に耐えられない。このため、仮戸籍申告書の電子データ化及び管理システムの構築を図る。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,960					
		(b) 予算現額	15,309					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 651					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	15,309	0				
	B. 執行済額		15,309					
	うち交付金充当額		12,247					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は全て実施した。当初予算との差額は入札残分の補正減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	仮戸籍の電算化:2,304件(戸籍数)	目標	(2,304件)	()	()	()		
		実績	2,455件					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	仮戸籍申告書の電子データ化及び管理システムの構築を図ることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	仮戸籍の電子化率:100%	目標	(0%)	(100%)	()	()	(—)	
		実績		100%				
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	目標どおり全ての仮戸籍の電子化を完了した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>今回仮戸籍のデータ化するにあたり、戸籍の劣化が思った以上に激しく早急に取り組む必要性が鮮明になった。仮戸籍申請の請求は今後、昭和初期生まれの方が死亡等により相続に関する調査や、二重戸籍の訂正事項等に必要性があるものと考えられる。件数も増える可能性があり、データ化及び管理システムの構築することにより、時間の短縮及び戸籍の連動性が確実に行うことができるものとする。</p>	<p>これまでお客様から、仮戸籍の交付申請があってからお客様にお渡しするまでかなりの時間が必要とされていましたが、戸籍のデータ化により、検索も容易にできることからお客様を待たせることなく、効率よく対応することを検討する。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>仮戸籍のデータ化に伴い、取り扱う職員のスキルアップを図り、戸籍法に準じてより正確に確認し、迅速に対応をおこなうこと。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	15,309	15,309	12,247	3,062	0
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 大宜味村 15,309千円 </div> <div style="margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 委託料 15,309千円 </div> <div style="margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 富士ゼロックスシステム サービス株式会社 15,309千円 </div> <div style="margin-left: 20px;"> (仮戸籍電子化に係る委託業務) </div> </div>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	